



49. *Cyrtarachne yunoharuensis*
アカイロトリノフンダマシ ♀ p.49



50. *Cyrtarachne yunoharuensis*
アカイロトリノフンダマシ ♀ p.49



51. *Cyrtarachne yunoharuensis*
アカイロトリノフンダマシ ♂ p.49



52. *Paraplectana sakaguchii*
サカグチトリノフンダマシ ♀ p.50



53. *Paraplectana sakaguchii*
サカグチトリノフンダマシ ♀ p.50



54. *Paraplectana tsushimensis*
ツシマトリノフンダマシ ♀ p.50



55. *Paraplectana tsushimensis*
ツシマトリノフンダマシ ♀ p.50



56. *Pasilobus hupingensis*
ワクドツキジグモ ♀ p.51



57. *Pasilobus hupingensis*
ワクドツキジグモ ♀ p.51



58. *Pasilobus hupingensis*
ワクドツキジグモ ♂ p.51



59. *Ordgarius hobsoni*
マメイタイセキグモ ♀ p.51



60. *Ordgarius sexspinosus*
ムツトゲイセキグモ ♀ p.51

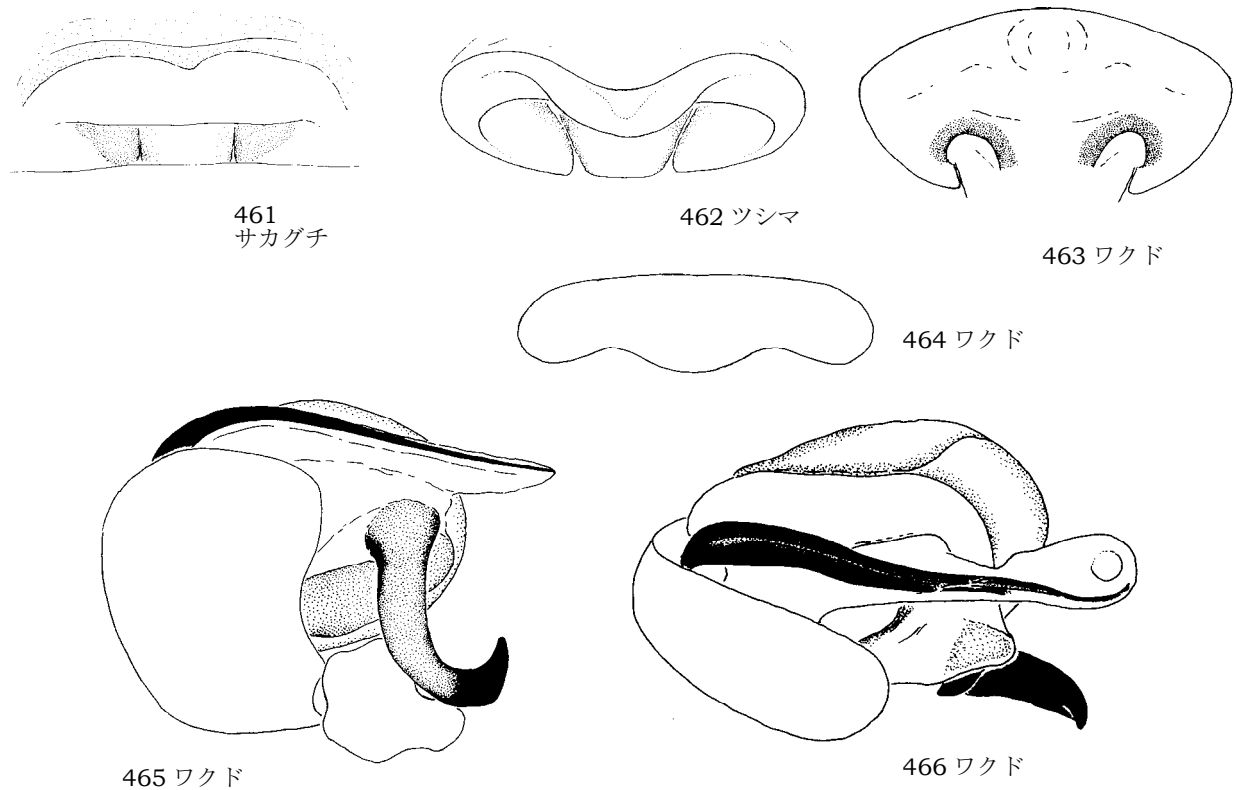


図 461–466. 461, サカグチトリノフンダマシ *Paraplectana sakaguchii*. 462, ツシマトリノフンダマシ *Paraplectana tsushimensis*. 463–466, ワクドツキジグモ *Pasilobus hupingensis*. 461–463, 外雌器後面 epigynum, posterior ; 464, 同腹面 same, ventral ; 465, 雄左触肢腹面 male left palp, ventral ; 466, 同背面 same, dorsal). (Tanikawa 2006b より)

わめて類似しており，別属とすることには検討の余地がある．しかし，本属のクモ類ではいまだに雄が未発見であり，そのことが研究の進展を妨げている．

世界では 12 種が，旧北区，東洋区，エチオピア区から知られる．日本に確実に生息するのは次の 2 種である．

サカグチトリノフンダマシ
Paraplectana sakaguchii Uyemura 1938
(図 52–53, 461)

体長：雌 7.0～9.0mm，雄不明．雌：背甲は褐色．腹部上面は橙色で多数の白斑がある．本種の雌の色彩，斑紋はアカイロトリノフンダマシのアカイロ型に似るが，本種の腹部の外形は長さと同幅の丸い形をしているのに対して，アカイロトリノフンダマシでは長さよりも幅のほうが広い横長の形をしている点や，アカイロトリノフンダマシの腹部背面前方両側にある 1 対の黒斑が本種では見られないことなどで見分けられる．採集記録の少ない稀産種である．分布：日本（本州，四国，九州），中国．

ツシマトリノフンダマシ

Paraplectana tsushimensis Yamaguchi 1960
(図 54–55, 462)

体長：雌 7.0～10.0mm，雄不明．雌：背甲は暗赤褐色．腹部上面は橙色で多数の黒色の斑紋がある．本種の雌は腹部上面の色彩，斑紋によって同属他種から容易に見分けられる．採集記録の少ない稀産種である．分布：日本（本州，四国，九州，奄美諸島，沖縄諸島），台湾，中国．

ツキジグモ属
Pasilobus

トリノフンダマシ属と姉妹群関係にあると推定されている．本属のクモ類は水平三角網を張る．

世界では約 10 種が旧北区，東洋区，エチオピア区から知られる．

日本には次の 1 種のみが生息するが，発見例はきわめて少ない．